



2021年3月期 決算説明資料

2021年6月1日

株式会社JFLAホールディングス
証券コード 3069

I. 2021年3月期 決算の概要

1. 当期のダイジェスト
2. グループの概要
3. 連結業績報告
 - 3-1 連結損益計算書
 - 3-2 報告セグメントの状況(売上高)
 - 3-3 報告セグメントの状況(営業損益)
 - 3-4 連結貸借対照表
 - 3-5 自己資本(自己資本比率)の推移
 - 3-6 通期連結業績予想

1. 当期のダイジェスト

連結売上高 69,619百万円
(前年同期比 Δ 11,251百万円)

連結営業損失 1,185百万円
(前年同期比 Δ 1,701百万円)

・全般

新型コロナウイルス感染症の世界規模の拡大に伴う、社会・経済・消費活動の大幅な活動制限

・販売事業、流通事業

外出自粛、各自治体からの営業自粛及び営業時間短縮の要請、リモートワークの拡大等による会食や宴席の減少などによって減収・減益

・生産事業

乳製品の家庭向け需要の増加や受託加工事業が好調に推移したことによって堅調に推移

2. グループの概要

11社 販売事業 560店舗

・2021年3月末現在
・非連結子会社4店舗含む

(株)アスラポート

とりでん：焼き鳥・釜飯 キムカツ：とんかつ



25店



8店

33店舗

どさん子：ラーメン（その他 82店）



115店

197店舗

ちどり亭：焼き鳥

浪花屋 鳥造：焼き鳥（その他 2店）

とり鉄：焼き鳥（その他 8店）



46店



13店

61店舗



43店

51店舗

(株)アルテゴ

MOMI&TOY'S：クレープ（その他5店）



47店

52店舗

瑪蜜黨(モミイ)：台湾ドリンク(タピオカ)



17店舗

BAGEL&BAGEL：ベーグル(その他6店)



29店

35店舗

たこばやし：たこやき



3店舗

(株)TBジャパン

タコベル：メキシカン・ファストフード



12店舗

(株)LCAD

アラン・デュカス氏監修ショコラ製造及びショップ
「ル・ショコラ・アラン・デュカス」の運営



7店舗

(株)十徳

海鮮居酒屋(その他 8店)

29店舗

(株)ルパンコティディアンジャパン
オーガニックベーカリーレストラン



3店舗



13店



8店

(株)菊家

お菓子の菊家：和洋菓子（その他 3店）



37店

40店舗

Atariya Foods Retail (UK) Limited

(英国：食料品等小売)



4店舗

(株)セルフユウ

ジャムディップ/洋菓子販売

3店舗

Dae-Yang, Asiatische
Lebensmittel GmbH(大洋食品)
(ドイツ：食料品等小売)

1店舗

Asrapport Dining USA Inc.

(米国：寿司/日本食)

12店舗

9社

流通事業



T&S Enterprises (London) Limited

(英国：水産加工卸業)



Pacific Paradise Foods, Inc.

(米国：食品加工卸)



Atariya Foods Limited

(英国：英国・欧州子会社等の株式・営業資産の保有・経営管理並びに統括)



Atariya Foods Netherlands B.V.

(オランダ：食料品等輸入販売)



Atariya Horeca B.V.

(オランダ：食材仕入販売)

arcane

(株)アルカン

(高級料理食材・製菓材・小売食品・ワイン輸入販売)

TOYOSHOJI

東洋商事(株)

(業務用総合食品類卸売事業)

他2社

※一部、非連結子会社を含む、その他事業を除く
※枠内は今年度グループ入り又は設立。青字は海外。

2. グループの概要

生産事業

21社



※一部、非連結子会社を含む、その他事業を除く
※枠内は今年度グループ入り又は設立。

他4社

-  **株式会社弘乳舎**
(乳製品等の製造販売、小麦粉調製品等の販売)
-  **茨城乳業株式会社**
(牛乳および乳製品の製造販売)
-  **株式会社TOMONIゆめ牧舎**
(酪農事業)
-  **九州乳業株式会社**
(牛乳および乳製品の製造販売)
-  **盛田株式会社**
(清酒および味噌等製造・販売)
-  **銀盤酒造株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **加賀の井酒造株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **株式会社老田酒造店**
(清酒製造・販売)
-  **常楽酒造株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **千代菊株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **中川酒造株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **佐藤焼酎製造場株式会社**
(焼酎製造・販売)
-  **阿櫻酒造株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **富士高砂酒造株式会社**
(清酒製造・販売)
-  **モリヨシ株式会社**
(和惣菜、食料品製造・販売)
-  **株式会社ハイピース**
(清涼飲料水製造・販売)
-  **琉球ビバレッジ株式会社**
(清涼飲料水製造・販売)



生産事業拠点一覧

3-1. 連結業績報告 連結損益計算書

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		対前年	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	80,871	100.0%	69,619	100.0%	△ 11,251	△13.9%
売上原価	56,622	70.0%	51,002	73.3%	△ 5,620	-
売上総利益	24,248	30.0%	18,617	26.7%	△ 5,631	△23.2%
販売費及び 一般管理費	23,732	29.3%	19,803	28.4%	△ 3,929	-
営業損益	515	0.6%	△ 1,185	△1.7%	△ 1,701	-
経常損益	217	0.3%	△ 1,503	△2.2%	△ 1,720	-
特別利益	6,683	-	1,709	-	△ 4,974	-
特別損失	4,772	-	2,172	-	△ 2,599	-
法人税等	536	-	552	-	16	-
当期純損益	1,689	-	△ 2,558	-	△ 4,247	-

※非支配株主に帰属する当期純損益を除いております。

特別利益	助成金収入	724百万円
	投資有価証券売却益	686百万円
特別損失	減損損失	625百万円
	新型コロナウイルス感染症による損失	622百万円

3-2. 連結業績報告 報告セグメントの状況(売上高)

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率
販売事業	23,686	13,720	△ 9,966	△42.1%
流通事業	22,180	16,894	△ 5,285	△23.8%
生産事業	34,854	38,165	3,311	9.5%
その他	150	839	689	458.7%
合計	80,871	69,619	△ 11,251	△13.9%

生産事業 :九州乳業16,065百万円(前年同期差 735百万円増収)

:茨城乳業 3,245百万円(前年同期差 225百万円増収)

流通事業 :16,894百万円(前年同期比 23.8%減収)

販売事業 :13,720百万円(前年同期比 42.1%減収)

3-3. 連結業績報告 報告セグメントの状況(営業損益)

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率
販売事業	186	△ 795	△ 982	-
流通事業	303	△ 296	△ 599	-
生産事業	1,229	1,178	△ 51	△ 4.2%
その他	27	△ 10	△ 37	-
全社費用	△ 1,230	△ 1,261	△ 31	-
合計	515	△ 1,185	△ 1,701	-

生産事業全体で1,178百万円と安定的な利益を計上。九州乳業では今後需要が見込まれるデイリーフリー製品に対応すべく生産設備の増強を実施。一方で、販売事業や流通事業は減収が主要因となり、販売事業は795百万円、流通事業は296百万円とそれぞれ営業損失を計上。

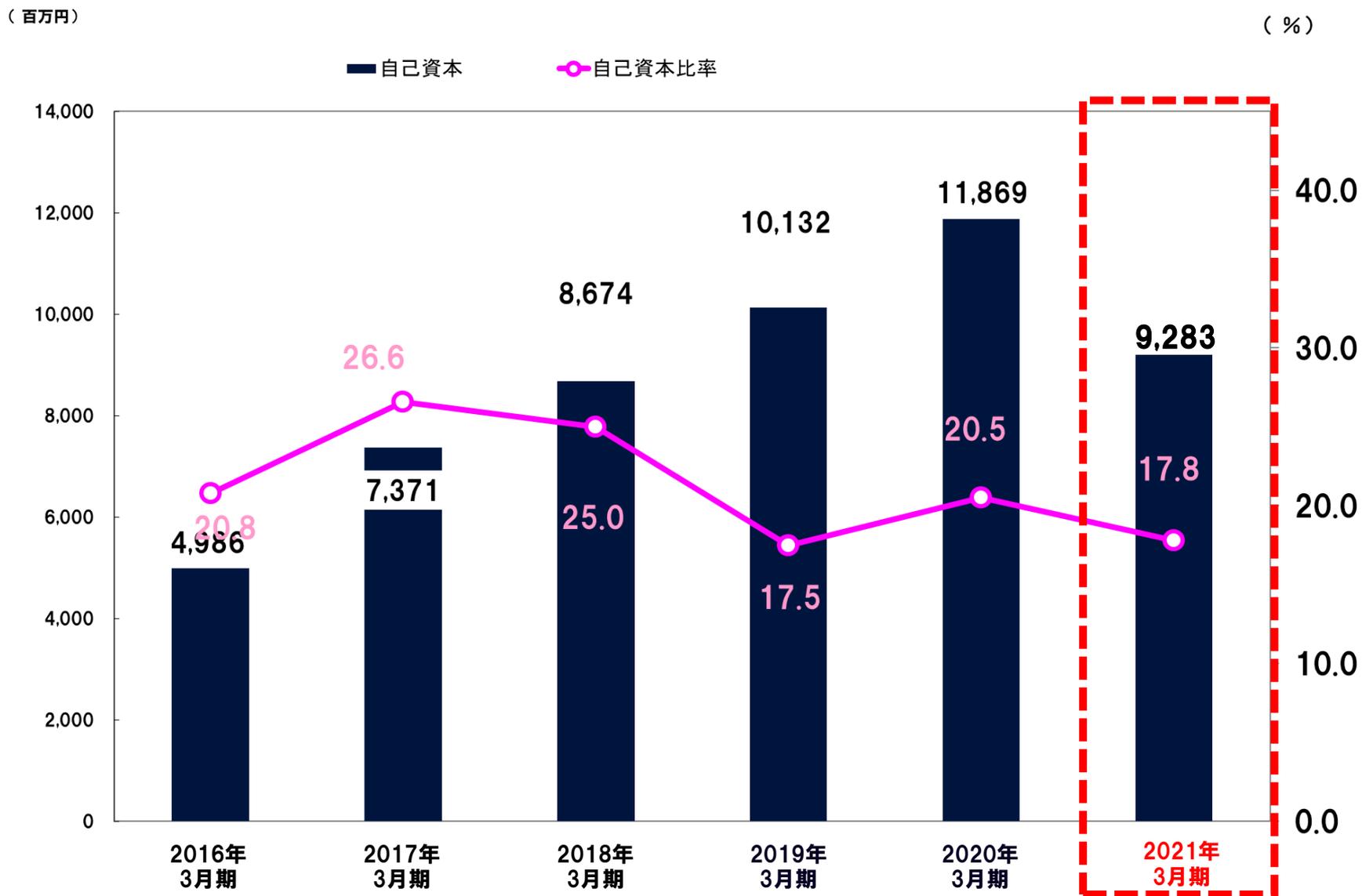
3-4. 連結業績報告 連結貸借対照表

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額		2020年3月期	2021年3月期	増減額
流動資産	30,085	24,065	△ 6,020	流動負債	30,660	28,355	△ 2,305
(現金預金)	8,017	6,072	△ 1,945	(有利子負債)	18,800	15,970	△ 2,830
固定資産	27,745	28,186	440	固定負債	14,906	13,868	△ 1,038
(有形固定資産)	18,001	17,717	△ 284	(有利子負債)	10,120	8,910	△ 1,209
(無形固定資産)	3,697	4,460	763	負債計	45,567	42,223	△ 3,343
(投資その他資産)	6,046	6,008	△38	純資産	12,276	10,035	△ 2,241
繰延資産	12	7	△ 5				
資産計	57,843	52,258	△ 5,585	負債純資産計	57,843	52,258	△ 5,585

財務健全性を意識した運営を行ったため、有利子負債は4,040百万円減少いたしました。また、純資産の増減率は△18.2%となりました。

3-5. 自己資本(自己資本比率)の推移



3-6. 通期連結業績予想

2021年3月期実績					2022年3月期予想			
(百万円)	合計	販売事業	流通事業	生産事業	合計	販売事業	流通事業	生産事業
売上高	69,619	12,452	18,822	41,602	76,500	14,149	19,924	43,969
営業損益	△1,185	△1,322	△248	804	670	102	247	718
経常損益	△1,503				430			
当期純損益	△2,558				110			
配当金(円)	4.0				4.0			

※各事業の数値は各社単純合算ベースです（セグメント間取引消去前の金額ですので、報告セグメントベースではございません）。
 なお、合計の数値は連結調整後の金額です（その他事業は省略しております）。

予想-実績				
(百万円)	合計	販売事業	流通事業	生産事業
売上高	5,166	1,697	1,102	2,367
営業損益	1,855	1,424	495	△86
経常損益	1,933			
当期純損益	2,668			

販売事業：不採算事業の撤退や事業モデルの転換により大幅赤字から黒字転換。

流通事業：アルカンは業務用から市販用市場にも注力、海外部門は損益改善により黒字転換。

生産事業：売上高は引続き好調も、九州乳業は設備増強による償却費増加、弘乳舎は余剰乳取扱い減少。

II. 2021年3月期 振り返りと今後の取り組み

1



当期の振り返り

2



今後の取り組み

1. 当期の振り返り

販売事業

新型コロナウイルス感染症以前よりデリバリー機能を強化した複合業態への転換を推進した結果、2021年3月末現在直営店舗の36%まで転換完了。

海外事業／生産事業

不採算事業からの撤退により事業縮小を進める一方で、国内の生産事業に対して設備投資やマネジメント人材の強化等、経営資源をシフト。

本社費用等

2021年4月1日付けでJFLAホールディングスがジャパン・フード&リカー・アライアンスを吸収合併し両社の完全統合が完了。バックオフィス機能の効率化を更に推進。

2. 今後の取り組み

1/
デリバリー機能を付加した複合
業態の推進による収益構造改善
(販売事業)



出典: デリズホームページ



2/
業務用市場向けから
量販店や小売店向けの
家庭用市場、オンライン市場の
売上比率を高める施策を推進
(アルカン)



2. 今後の取り組み

3

九州乳業では、当期中に豆乳並びにヨーグルトの生産ラインを増設。
2022年3月期において、豆乳は約30%、ヨーグルトは約17%の増収計画。



腸まで届くN1シリーズヨーグルト

2. 今後の取り組み

JFLA2021 基本方針

「食を通じた新たな価値の創造と提供」

新たな価値を生み出す
ブランド創出

新たな価値を提供する
多様な販売手法の構
築

新たな価値を支える経
営基盤の確立と持続
的な成長

2. 今後の取り組み

① 新たな価値を生み出すブランド創出

プロアスリートと協働して当社の発酵技術や醸造技術を使った健康食品の開発を行う等健康増進事業(ウェルエイジング事業)を開始。大分トリニータの選手に食事や飲料を提供し、そのデータ等を活用したアスリート向けの商品開発を展開。



DOMÉ
ATHLETE HOUSE



DNS

KEISER



BRAVO GROUP



2. 今後の取り組み

① 新たな価値を生み出すブランド創出

「サッカーショップKAMO」を運営する加茂商事との間で栄養バランスに優れたプレートメニュー『Athlete Deli』を共同開発。



2. 今後の取り組み

② 新たな価値を提供する多様な販売手法の構築

生産事業

毎日2万2千世帯以上の家庭に商品を届ける九州乳業の宅配網において乳飲料以外の食材、具体的には生活必需品のしょうゆやみそ、豆腐やパンまでお客様へ提供。

販売事業

昨年8月フードデリバリー事業を運営するデリズとの間で、エリアフランチャイズ契約を締結しクラウドキッチンをもつデリバリー拠点を100拠点開設することを計画。既に30店舗以上で導入完了。



2. 今後の取り組み

② 新たな価値を提供する多様な販売手法の構築

流通事業

東洋商事は惣菜製造工場のモリヨシと連携して、介護施設向け食材の製造機能も加わり、オリジナルで付加価値のある商品の提供が可能。

また、管理栄養士によりメニュー化されたミールキット商品や、プロテイン等が入った機能性の高い商品を、大学の体育会寮やプロスポーツ選手の選手寮へ提供も開始。



2. 今後の取り組み

③ 新たな価値を支える経営基盤の確立と持続的な成長

国内市場、家庭用市場へ注力するなどグループ業績変動リスクを低減。一方で安定収益と成長性が望める生産事業に経営資源をシフト。事業成長の継続性を確保するためにSDGs等の取り組みを重要な経営目標に設定。



2. 今後の取り組み

③ 新たな価値を支える経営基盤の確立と持続的な成長

国内市場、家庭用市場へ注力するなどグループ業績変動リスクを低減。
一方で安定収益と成長性が望める生産事業に経営資源をシフト。

(参考)

乳業各社の2021年3月期実績

(百万円)

	売上高	営業利益	営業利益率
九州乳業	16,065	670	4.2%
弘乳舎	4,099	220	5.4%
茨城乳業	3,245	87	2.7%

※営業利益は経営指導料控除前

2. 今後の取り組み

③ 新たな価値を支える経営基盤の確立と持続的な成長

事業成長の継続性を確保するためにSDGs等の取り組みを重要な経営目標

九州乳業：

C02排出量の削減と廃棄物の削減、節水を含めた3点を全社単位で取組んでおり、日本の温室効果ガス削減目標である2030年度までに2013年度比46%まで削減とほぼ同レベルのC02削減を2020年度は達成。

弘乳舎：

100年後の熊本の地下水を考え、地下水の啓発活動や水質保全活動などを長年に渡り実施してまいりましたが、この度、くまもと地下水財団の地下水保全顕彰制度においてシルバー認定企業に選定。



2. 今後の取り組み

③ 新たな価値を支える経営基盤の確立と持続的な成長

事業成長の継続性を確保するためにSDGs等の取り組みを重要な経営目標

盛田 日光工場：

2020年の「ISO22000」に加えて2021年には「とちぎHCCAP」の認証を取得するなど品質・衛生管理体制の整備拡充を進めお客さまに安心・安全で高品質な製品をお届けへ。

盛田 小豆島工場：

しょうゆ諸味圧搾後のしょうゆ粕を100%再利用。一部は家畜の飼料となりますが、そのほとんどを工場内に設置された粕焼きボイラーによって焼却し、新たなエネルギーへと転換しています。このエネルギーは小豆島工場で使用するエネルギーの約3割にあたり、重油使用量の削減へ。



APPENDIX

参考資料:会社概要

2021年3月31日現在

社名	株式会社JFLAホールディングス
設立	2007年1月12日
資本金	2,910百万円
代表者	代表取締役社長 檜垣 周作
本店所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目5番6号
従業員数(連結)	1,809名
上場取引所	東京証券取引所JASDAQ 証券コード:3069
発行済株式総数	41,929,936株(自己株式30,901株含む)
株主数	26,988名

参考資料：外食店舗売上高前年比と店舗数の推移(1)

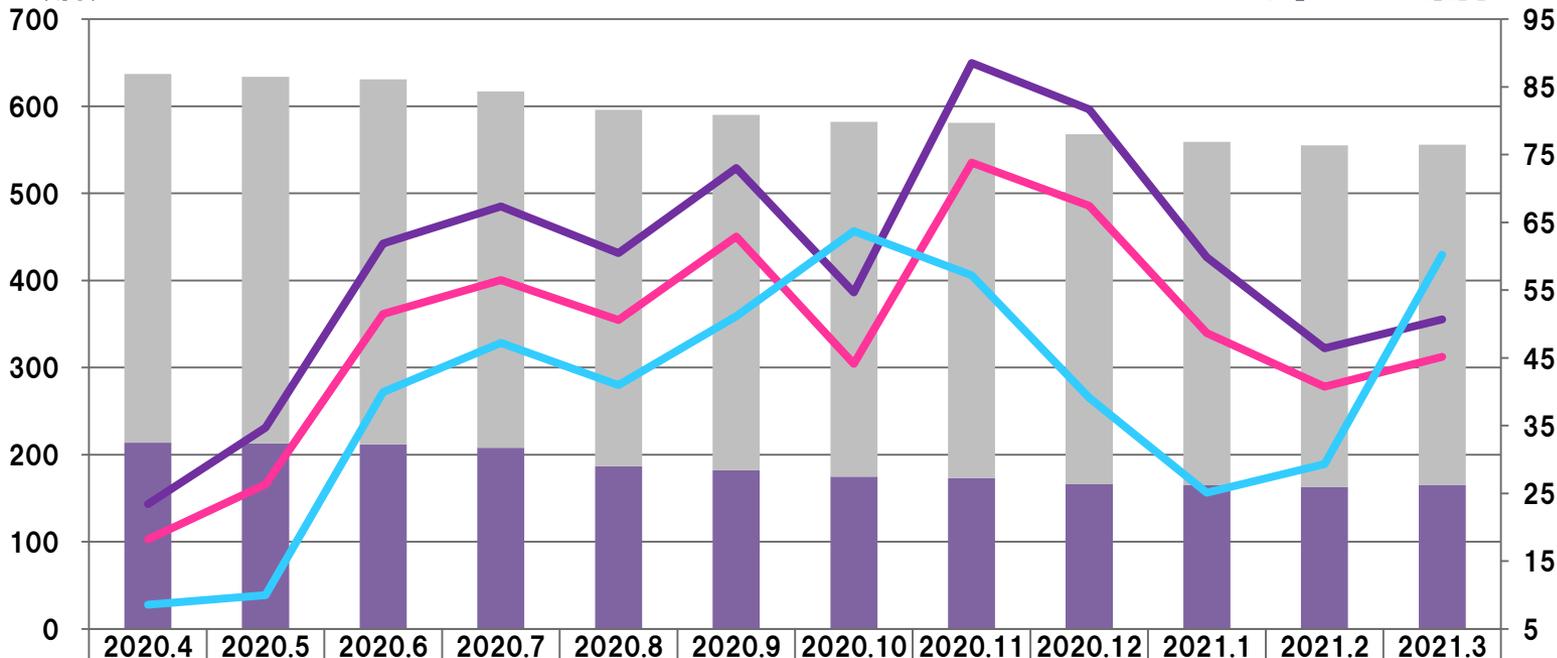
既存店売上前年比(直営+FC合計)※連結子会社対象

2020年4月末

計620店舗 (店)

2021年3月末

計556店舗 (%)



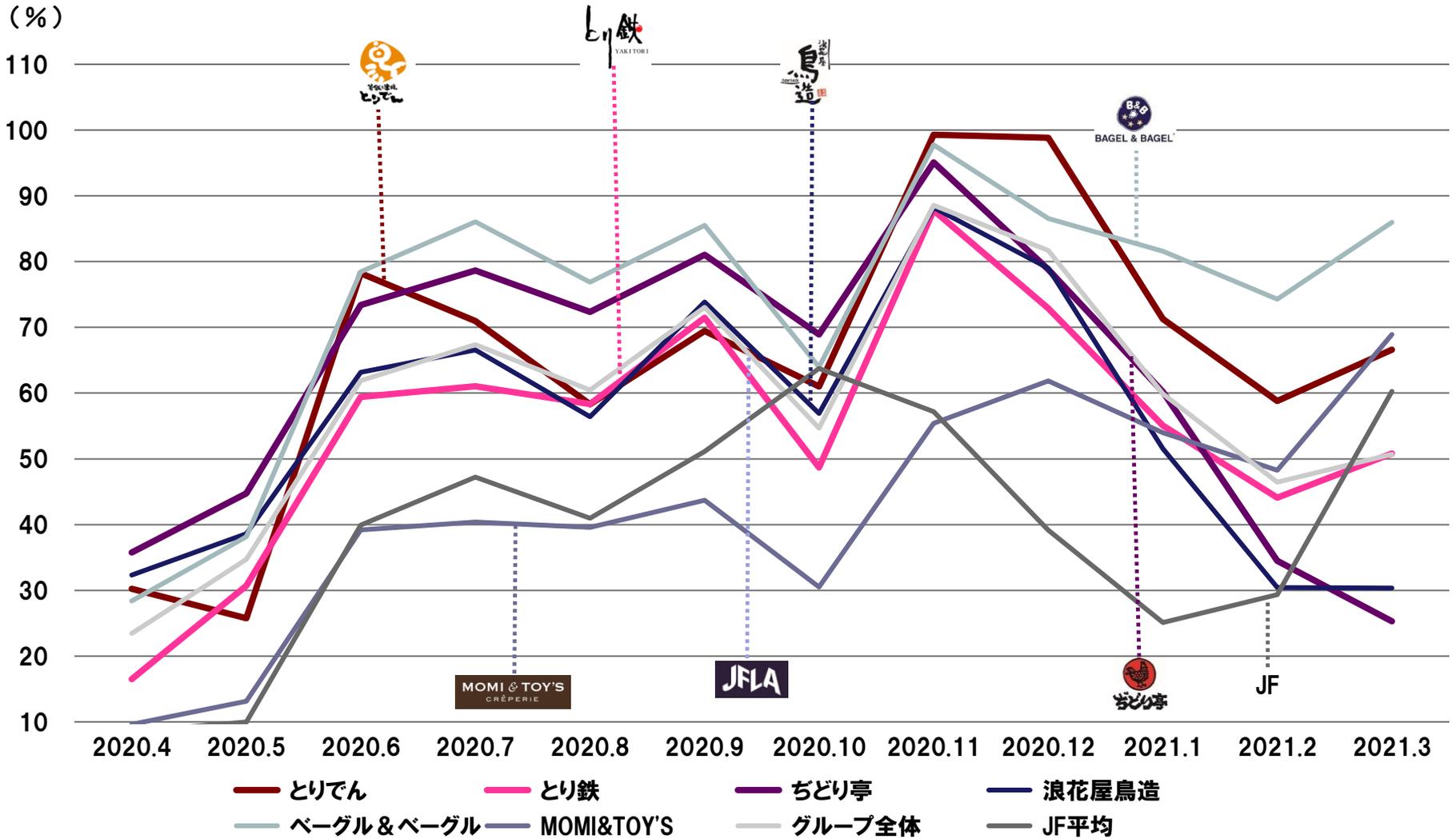
	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9	2020.10	2020.11	2020.12	2021.1	2021.2	2021.3
FC店舗数	423	421	419	409	409	408	407	408	402	394	392	391
直営店舗数	214	213	212	208	187	182	175	173	166	165	163	165
既存店前年比	23.4	34.7	61.9	67.4	60.5	73.0	54.7	88.6	81.7	59.9	46.4	50.7
全店前年比	18.2	26.3	51.5	56.5	50.6	62.9	44.2	73.8	67.5	48.7	40.8	45.2
業界平均(パブ居酒屋)	8.6	10.0	39.9	47.2	41.0	51.1	63.7	57.2	39.1	25.1	29.3	60.3

【前期との売上高比較】 全店： 51.2 % 既存店： 62.0 % (ご参考) 業界平均(パブ・居酒屋)： 61.4 %(※)

※ 出典：日本フードサービス協会(JF)「外食産業市場動向調査」の情報を元に算出。

参考資料：外食店舗売上高前年比と店舗数の推移(2)

既存店売上前年比(直営+FC合計)※連結子会社対象



参考資料：外食店舗売上高前年比と店舗数の推移(3)

既存店売上前年比(直営+FC合計)

(単位:%)

	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9	2020.10	2020.11	2020.12	2021.1	2021.2	2021.3
とりでん	30.2	25.8	78.2	71.0	58.3	69.4	61.0	99.3	98.8	71.3	58.8	66.6
とり鉄	16.5	30.7	59.4	61.1	58.3	71.5	48.7	87.8	72.9	55.1	44.1	50.8
ちどり亭	35.8	44.8	73.4	78.6	72.4	81.0	68.9	95.1	78.8	60.2	34.5	25.3
浪花屋鳥造	32.3	38.6	63.2	66.6	56.4	73.8	56.9	88.2	79.0	51.5	30.4	30.4
ベーグル& ベーグル	28.4	38.1	78.4	86.1	76.9	85.5	64.0	97.7	86.5	81.6	74.3	86.0
MOMI&TOY'S	9.6	13.1	39.2	40.4	39.6	43.7	30.5	55.4	61.8	54.0	48.3	68.9
グループ全体	23.4	34.7	61.9	67.4	60.5	73.0	54.7	88.6	81.7	59.9	46.4	50.7
JF平均	8.6	10.0	39.9	47.2	41.0	51.1	63.7	57.2	39.1	25.1	29.3	60.3

参考資料: グループ店舗数(各社の主なブランドを記載)

		2020.4	2021.3	増減
(株)アスラポート		371	342	-29
とりでん	直営	2	3	1
	FC	36	22	-14
とり鉄	直営	8	6	-2
	FC	41	37	-4
ちどり亭	直営	4	3	-1
	FC	43	43	0
浪花屋鳥造	直営	0	0	0
	FC	14	13	-1
どさん子	直営	2	2	0
	FC	123	113	-10
みそ膳	直営	1	1	0
	FC	29	25	-4
(株)アルテゴ		135	107	-28
ベーグル&ベーグル	直営	28	22	-6
	FC	5	7	2
Momi&Toy's	直営	11	3	-8
	FC	45	44	-1
瑪蜜黨	直営	6	4	-2
	FC	23	13	-10
(株)TBジャパン		10	12	2
TACO BELL	直営	10	12	2
(株)菊家		38	40	2
お菓子の菊家	直営	38	37	-1
	FC	3	3	0
(株)十徳		54	29	-25
さかな市場	直営	24	13	-11
十徳や	直営	16	8	-8
	直営	214	169	-45
	FC	423	391	-32
グループ総合計(連結)		620	556	-64
グループ総合計		637	560	-77

この資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、下記に挙げております様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がありますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

- ・市場における価格競争の激化
- ・事業環境を取巻く経済動向の変動(個人消費を中心とした経済状況の変動)
- ・資本市場における相場的大幅な変動(株式市場相場的大幅な変動)
- ・税制の大幅な改正
- ・上記以外の様々な不確定要素

お問い合わせ先
株式会社JFLAホールディングス
広報・IR・CSR室
TEL:03-6311-8892
FAX:03-6311-8909
e-mail : info3069@j-fla.com